



# Wakate News Letter vol 37

2011.8.3 発行

## 1. 活動報告

### 1) セミナー (11年7月)

▽特別セミナーシリーズ

『科学における日本と世界のつながり』

8日(金) 18:45~20:00

第55回若手イニシアティブセミナー

演者: タダティル・パンカジャクサン先生 (インド大使館)

演題: 「インドと日本の科学技術コラボレーション: 現在、過去、未来」

会場: 総合研究棟D棟 116室

世話人: Hall Damien

22日(金) 18:45~20:00

第56回若手イニシアティブセミナー

演者: アン・エミーグ先生 (アメリカ大使館)

演題: 「米国と日本の科学的コラボレーション: 米国科学界からの視点」

会場: 総合研究棟D棟 116室

世話人: Hall Damien

29日(金) 18:45~20:00

第57回若手イニシアティブセミナー

演者: ケヴィン・ナベット先生 (イギリス大使館)

演題: 「イギリスの研究事業の構造」

会場: 総合研究棟D棟 116室

世話人: Hall Damien

### 2) 業績 (11年7月)

#### <学会発表・招待講演>

三浦謙治, 古川純

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団 第23回助成研究発表会

演題: 『イオンバランスは正による塩蓄積型塩耐性植物の機構解明』

日時: 2011年7月19日

場所: 東京(都市センターホテル)

西丸広史

国立精神神経研究センター・モデル動物開発研究部門セミナー

演題: 『Renshaw細胞の機能 (On the function of Renshaw cells)』

(英語講演)

日時: 2011年7月7日

場所: 国立精神・神経研究センター (東京)

西丸広史, 谷由加利, 柿崎美代, 岩里琢治, 糸原重美

第5回Motor Control研究会

演題: 『 $\alpha$ -キメラノックアウトマウスの歩行中枢における腰

髄局所回路の出力パターン解析』(ポスター発表)

日時: 2011年6月18日

場所: 岡崎カンファレンスセンター (岡崎)

#### <総説>

Angerer, L.M., Yaguchi, S., Angerer, R.C., Burke, R.D.

“The evolution of nervous system patterning: insights from sea urchin development.”

*Development in press* (2011)

#### <原著論文>

E. Avsar, Y. Hatta, C. Flensburg, J.Y. Ollitrault and T. Ueda,

“Eccentricity and elliptic flow in proton-proton collisions from parton evolution”

*Physics Letters B, in press.*

\* Yaguchi, S., Yaguchi, J., Wei, Z., Jin, Y., Angerer, L.M., Inaba, K.

“Fez function is required to maintain the size of animal plate in the sea urchin embryo.” (\*corresponding author)

*Development in press* (2011)

Nishimaru H\*, Sakagami H, Kakizaki M., Yanagawa Y.

“Locomotor-related activity of GABAergic interneurons localized in the ventrolateral region in the isolated spinal cord of neonatal mice.”

*J Neurophysiol.*

(published ahead of print July 6, 2011, doi:10.1152/jn.00385.2011)

(\*責任著者: 西丸)

Emiko Noguchi, Hiromi Sakamoto, Tomomitsu Hirota, Kaori Ochiai, Yoshimasa Imoto, Masafumi Sakashita, Fumitake Kurosaka, Akira Akasawa, Shigemi Yoshihara, Noriko Kanno, Yumi Yamada, Naoki Shimojo, Yoichi Kohno, Yoichi Suzuki, Mi-Jin Kang, Ji-Won Kwon, Soo-Jong Hong, Ken Inoue, Yu-ichi Goto, Fumio Yamashita, Takashi Asada, Hiroshi Hirose, Ikuo Saito, Shigeharu Fujieda, Nobuyuki Hizawa, Toru Sakamoto, Hironori Masuko, Yusuke Nakamura, Ichiro Nomura, Mayumi Tamari, Tadao Arinami, Teruhiko Yoshida, Hirohisa Saito, Kenji Matsumoto

“Genome-Wide Association Study Identifies HLA-DP as a Susceptibility Gene for Pediatric Asthma in Asian Populations”

*PLoS Genetics*

### 3) 外部資金獲得状況 (11年7月)

丹羽隆介

<第1回日本分子生物学会若手研究助成(富澤純一・桂子基金)>

「セロトニン産生神経依存的なステロイドホルモン生合成制御と発育プログラムの適応的調節」(300万円)

奥脇暢

<武田科学振興財団 医学系研究奨励(基礎)>

「Nucleoplamin/Nucleophosmin ファミリータンパク質による細胞がん化機構の解明」(300万円)

#### 4) 若手運営調整委員会よりお知らせ

##### ○ 若手分子医学クラスシリーズ (春期シリーズ)

▽英語クラス (担当: Damien Hall, 長谷川潤)

第10回 7/9

- Nicotine decreases food intake through activation of POMC neurons (Science)
- Glutamate induces de novo growth of functional spines in developing cortex (Nature)
- MicroRNAs 103 and 107 regulate insulin sensitivity (Nature)

第11回 7/16

- Converting nonsense codons into sense codons by targeted pseudouridylation (Nature)
- Identification of a lysosomal pathway that modulates glucocorticoid signaling and the inflammatory response (Science)
- A conditional knockout resource for the genome-wide study of mouse gene function (Nature)

第12回 7/23

- Direct generation of functional dopaminergic neurons from mouse and human fibroblasts (Nature)
- Fancd2 counteracts the toxic effects of naturally produced aldehydes in mice (Nature)
- Endocrine regulation of male fertility by the skeleton (Cell)

## 2. スケジュール (11年8月)

4日 (木) 16:00~17:30

第58回若手イニシアティブセミナー

演者: 西村 隆史 博士 (独) 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター成長シグナル研究チームチームリーダー)

演題: 「ショウジョウバエを用いたインスリン様ペプチド発現制御機構の解析」

会場: 総合研究棟A棟 A107室

世話人: 丹羽隆介

15日 (月)・16日 (火)

夏季一斉休業

17日 (水) ~19日 (金)

年次休暇等取得促進期間

26日 (金) 16:00~17:30

第61回若手イニシアティブセミナー

演者: 三嶋雄一郎 博士 (神戸大学大学院理学研究科)

演題: 「小さなRNAの大きな役割-microRNAシステムの包括的な理解に向けて」

会場: 総合研究棟D棟 116室

世話人: 丹羽隆介・杉山智康

▽特別セミナーシリーズ

『科学における日本と世界のつながり』

12日 (金) 18:45~20:00

第59回若手イニシアティブセミナー

演者: プレンドン・ハマー先生 (オーストラリア大使館)

演題: 「オーストラリアの研究支援とその方法 “Australian

Research Funding and Process - A Guided Tour ”」

会場: 総合研究棟D棟 116室

世話人: Hall Damien

26日 (金) 18:45~20:00

第60回若手イニシアティブセミナー

演者: 今井 寛 先生 (筑波大学)

演題: 「国際的にばりばり活躍している研究者はどのように育ってきたのか “Strategies and Support for a Career in International Research”」

会場: 総合研究棟D棟 116室

世話人: Hall Damien

## 3. 事務連絡

### ○ 夏季における休業について (通知)

平成23年7月12日付鈴木副学長名にて、夏季における休業期間について下記のとおり通知がありました。

本学は、従来から省エネ及びCO2排出削減に資するため一斉休業を実施してきたが、平成23年度においては別紙のとおり、夏季における一斉休業を実施 (附属病院事業場を除く。)するとともに、一斉休業に引き続き期間 (8月17日 (水) から19日 (金)) を年次休暇等の取得を促進し、これらの期間を併せて夏季における休業とし今後の夏季における電力節電に対応することとなりましたので、通知します。

(別紙)

I 夏季における休業について

1 一斉休業

(1) 一斉休業期間

平成23年8月15日 (月) 及び16日 (火) の2日間。

ただし、専ら夜間において大学院の教育及び附属学校教育局における教育相談の業務を行う組織にあつては勤務日である8月13日 (土) 及び16日 (火) とする。

(2) 一斉休業期間の休暇の取扱い

① 常勤職員については、特別休暇とする。

② 非常勤職員のうち当該日に勤務が予定されている場合には、当該日を有給の休暇とする。

③ ただし、当該期間にやむを得ず業務を行う必要がある場合には、勤務を命ずることができる。その場合には、常勤職員には当該勤務した日分の特別休暇を、非常勤職員には当該勤務した日分の有給の休暇を原則として平成23年9月までの間に別に付与する。

2 年次休暇等の取得促進について

(1) 年次休暇等取得促進期間

一斉休業期間に引き続き平成23年8月17日 (水) から19日 (金) までの3日間を年次休暇等取得促進期間とする。

(2) 年次休暇等取得促進期間の休暇の取扱い

① 常勤職員については、年次休暇又は夏季休暇の取得を促進する。

② 非常勤職員については、年次休暇の取得を促進するが、無給休暇の取得も可能とする。なお、当該期間に勤務した場合には、希望に応じ勤務した日分の無給休暇を平成23年9月までの間に限り付与する。(各事業場非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則の非常勤職員の無給休暇の規定を準用して無給休暇を承認する。)

③ 非常勤職員が出勤する場合には、予め業務指示を行うこと。

Wakate News Letter vol37 [平成23年8月号]

編集・発行: 若手研究者運営調整委員会

\*当ニュース・レターは、毎月1回定例会後に配信いたします。

連絡先: 若手支援室 酒井

[sakai.hisae@un.tsukuba.ac.jp](mailto:sakai.hisae@un.tsukuba.ac.jp)